

都市再生整備計画(第3回変更)

はなばたけえきしゅうへんちく
花畑駅周辺地区

ふくおかけん くるめし
福岡県 久留米市

平成21年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福岡県	市町村名	くろめし 久留米市	地区名	はなばたけえきしゅうへんちく 花畑駅周辺地区	面積	77 ha
計画期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度
交付期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度

目標

大目標：駅を中心とした都市環境の改善による憩いや賑わいのある都市再生

目標1	憩いや賑わいのある駅周辺空間の創出により、駅周辺市街地のにぎわいを再生する。
目標2	区画整理による公共施設の総合的整備により、交通・防災・環境等に問題のある地域を改善し、良好な市街地住宅の供給等に資する。
目標3	花畑駅付近連続立体交差事業と併せた、駅周辺整備を行い交通結節機能の向上を図る。

目標設定の根拠 平成21年3月

まちづくりの経緯及び現況

- ・久留米市は福岡県の西南部、筑紫平野のほぼ中央に位置し、県下第3の都市圏を形成する筑後川流域最大の中核都市であります。
- ・本市の中心市街地は、広域商業都市久留米の牽引役として機能してきましたが、福岡市都市圏の商業求心力の拡大、モータリゼーションの発展による郊外店舗の出店により、商業求心力の低下、商業地での客離れ等、中心市街地の空洞化が進行しています。また、駅周辺の交通結節機能や道路・駅前広場等の整備水準が低く、街来者に対応できていません。
- ・本地区は、久留米市の中心市街地に隣接する既成市街地であり、一部旧来からの集落形成に加え、西鉄大牟田線と3本の幹線道路が駅付近で複雑に交差しているため、慢性的な交通渋滞を引き起こしています。また地区内には、狭小で複雑に入り組んだ道路が存在し、これに面する住宅は密集し老朽化が進んでいるため、防災・環境上の問題を抱えています。
- ・久留米市総合計画において、花畑駅周辺地区は、「人と情報が行き交うにぎわいのあるまち」と「拠点都市の役割が果たせるまち」を目標にしており、花畑駅周辺土地区画整理事業並びに花畑駅付近連続立体交差事業の施行により、総合的なまちづくりを進めています。
- ・平成13年度より地元住民主催による「花畑まちづくり研究会」及び「東町活性化会」が開催されており、花畑駅周辺地区の住民と連携を高め、新しいまちづくりの整備方針や地区計画の提言等、住民参加のまちづくりを進めています。

課題

- ・駅周辺市街地を活力あるものにするためには、人と情報が集まり交流する魅力あるまちづくりの整備が不可欠であり、公共交通機関の利用促進・交通結節機能の強化・駅と商業施設を結び歩行回遊空間整備及び、休息施設、緑化施設等を配置した質の高い都市施設整備が求められています。
- ・高齢者や車イス利用者が安心して通行できるような歩道整備と、段差解消のバリアフリー化等社会基本の整備を行い、高齢者等が積極的に活動できる環境整備に取り組んで行く必要があります。
- ・拠点都市機能の充実強化を図るため、都心部商業地域の再整備と併せて、土地区画整理事業を進め、様々な都市機能が集積し、防災に強く安全で快適に暮らし活動できる多機能拠点としての再整備が必要であります。
- ・本市は都市の骨格となる広域幹線道路の整備が遅れ、道路整備が交通量の増加に対応できない状況になっており、慢性的な交通渋滞が発生しています。踏切によるボトルネック解消と公共交通機能の強化促進のため連続立体交差事業の促進が求められています。

将来ビジョン(中長期)

地力と風格のある都市久留米として、人と情報が行き交うにぎわいのある、拠点都市機能の整備

- ・久留米市総合計画において、花畑駅周辺は、人が集い楽しむ場所として、拠点都市機能の充実強化を図り、快適に暮らし活動できるよう、土地区画整理事業による都市基盤整備並びに、連続立体交差事業による、交通機能強化に取り組む広域的な公共交通網の整備を図る地区として位置付けています。
- ・久留米市を中心とした3市5町(A=約5,050Km²・人口=約47万人)は、平成5年4月に久留米地方拠点都市地域の指定(県指定)を受け、平成6年7月に基本計画を策定(県知事承認)しています。その基本計画のなかで、本地区は「久留米広域都市拠点地区」に位置付けられ、多種・多様な都市機能の集積による交流拠点機能の充実・強化が求められ、既成市街地の再整備による総合土地利用の高度化及び市街地環境の向上を図り、都市機能を充実し、快適で魅力ある広域都市拠点地区への整備が進められています。
- ・平成11年3月に久留米市中心市街地活性化基本計画において、本地区及び周辺地域は中心市街地の都市機能を補完する隣接地域と位置付けられ、中心市街地との連携強化による安全で快適な住環境の整備が求められています。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
駅乗降者数	人/日	公共交通利用者数	交通結節機能の向上により、西鉄大牟田線乗降者数の減少傾向を抑制し(減少率10%・4%への緩和)、駅周辺の人の集いによる駅周辺の賑わいを図る。	50,000	平成16年	48,000	平成21年
駅周辺来街者数	人/日	西鉄久留米駅東口周辺への歩行者数	駅周辺環境の整備により来街者の減少傾向を抑制し(減少率14.7%・2.5%への緩和)、駅周辺の百貨店と商店街への回遊を促し、賑わいのある交流拠点として市街地の活性を図る。	8,200	平成16年	8,000	平成21年
狭隘道路率	%	地区内における狭隘道路(4m未満)の割合	緊急車両の活動に支障が生じる、狭隘道路を解消し、防災に強く安全な居住環境の整備を行う。	21	平成16年	14	平成21年
自転車駐車場利用台数	台/日	地区内の駅周辺における自転車駐車場の利用台数	連続立体交差事業ならびに駅周辺環境整備により、増加が予想される自転車利用者の利便性向上および放置自転車の解消を図るため、自転車駐車場を整備する。	2,630	平成16年	3,290	平成21年
電線類地中化整備延長	m	地区内における電線類地中化の整備延長	幹線道路の電線類を地中化することにより、安全で快適な通行空間を確保するとともに、景観の整備による質の高い都市施設整備を行なう。	1,550	平成16年	4,530	平成21年

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(駅周辺市街地の賑わいの再生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が集まりやすい都市構造の再構築が必要であり、都心部への交通アクセスの改善、都心部交通システムの改善等交通結節機能の強化に併せて、駅舎及び駅前広場整備、歩道空間の整備改善により、人の交流と憩いの駅前空間づくりを行う。 ・幹線道路や駅前広場の整備にあたっては、歩道空間に植栽やベンチ等の休憩施設を配置し、歩行者の快適性の向上を図り、人の集いの空間を創出する。 ・駅への公共交通利用者と駅周辺商店街への来街者の増加も予想されるため、受け皿となる自転車駐輪場を整備し、道路等への放置自転車を解消し、歩道空間の確保を図る。 ・連続立体交差事業により新たに生まれ変わる花畑駅の2階部分に公共歩廊を設置し、自転車駐輪場利用者を始めとする駅利用者の利便性を図るとともに新たな公共空間として街の活性化を図る。 ・地元が中心となったまちづくりを進めていくため、まちづくり研究会等の運営を支援し、今後地元商店街が継続してイベントを開催できるような組織体制を確立する。 ・駅近隣の公園を整備することにより、人の交流と憩いの場を創出する。 	<p>都市再生交通拠点整備事業(基幹事業/駅前広場、市)、地域生活基盤施設(基幹事業/自転車駐輪場、市)、高質空間形成事業(基幹事業/駅前広場・道路、市)、地域創造支援事業(提案事業/公共歩廊、市)、まちづくり活動推進事業(提案事業/研究会運営、市)、公園整備(提案事業/天神公園、市)</p> <p>連続立体交差事業(関連事業/花畑駅付近、県)、関連側道事業(関連事業/道路、市)、交通施設バリアフリー化設備整備事業(関連事業/西鉄久留米駅、鉄道事業者)</p>
<p>整備方針2(防災・環境に問題がある地区の改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連続立体交差事業による踏切渋滞の解消や地域分断化の改善に併せて、密集住宅地や狭隘道路等を総合的に改善する土地区画整理事業により、交通問題の改善や防災に強く、質の高い住環境整備を行う。 ・優良建築物等整備事業により、土地の合理的かつ健全な高度利用を図り、住環境施設の整備促進を図る。 ・電線類の地中化を推進することにより、安全で快適な通路空間の確保、都市景観の向上並びに、災害時の避難路の確保等、防災対策の強化を図る。 	<p>土地区画整理事業(基幹事業/花畑駅周辺、市)</p> <p>優良建築物等整備事業(基幹事業/花畑駅周辺、民)</p> <p>連続立体交差事業(関連事業/花畑駅付近、県)</p> <p>地域創造支援事業(提案事業/電線類地中化引込設備、市)</p> <p>地域創造支援事業(提案事業/土地区画整理事業、市)</p>
<p>整備方針3(公共交通結節機能の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市機能がより機能的で有効に発揮できるように、公共交通機関の利用促進と鉄道の機能強化等を図り、併せて駅交通結節機能の強化などの総合的な交通体系の確立を行う。 ・連続立体交差事業に併せ駅舎や駅前広場等の駅周辺の総合的整備と、今後需要が見込まれる自転車駐輪場の整備を行い、駅利用者の利便性向上を図る。 	<p>都市再生交通拠点整備事業(基幹事業/駅前広場、市)、地域生活基盤整備(基幹事業/自転車駐輪場、市)</p> <p>連続立体交差事業(関連事業/花畑駅付近、県)、交通施設バリアフリー化設備整備事業(関連事業/西鉄久留米駅、鉄道事業者)</p>
<p>その他</p> <p>住民参加の事業進捗について</p> <p>快適で明るく、文化の薫り高い生活・業務空間を創設するための”まちづくり”の方策について、区画整理地区内の関係者が、自らの発意と行政の協同により検討をおこなうため、平成13年10月に組織された「花畑まちづくり研究会」により、地元住民から見た望ましい将来像について意見を受けて整備を進めている。</p> <p>街並み形成について</p> <p>まちづくり研究会から、適正な居住・業務環境を創設・担保していくための手法として、地区計画を用いたまちづくりのルールを提言を受け、花畑駅周辺土地区画整理事業地区内における、地区計画を制定した(平成18年4月告示)。</p>	

都市再生整備計画の区域

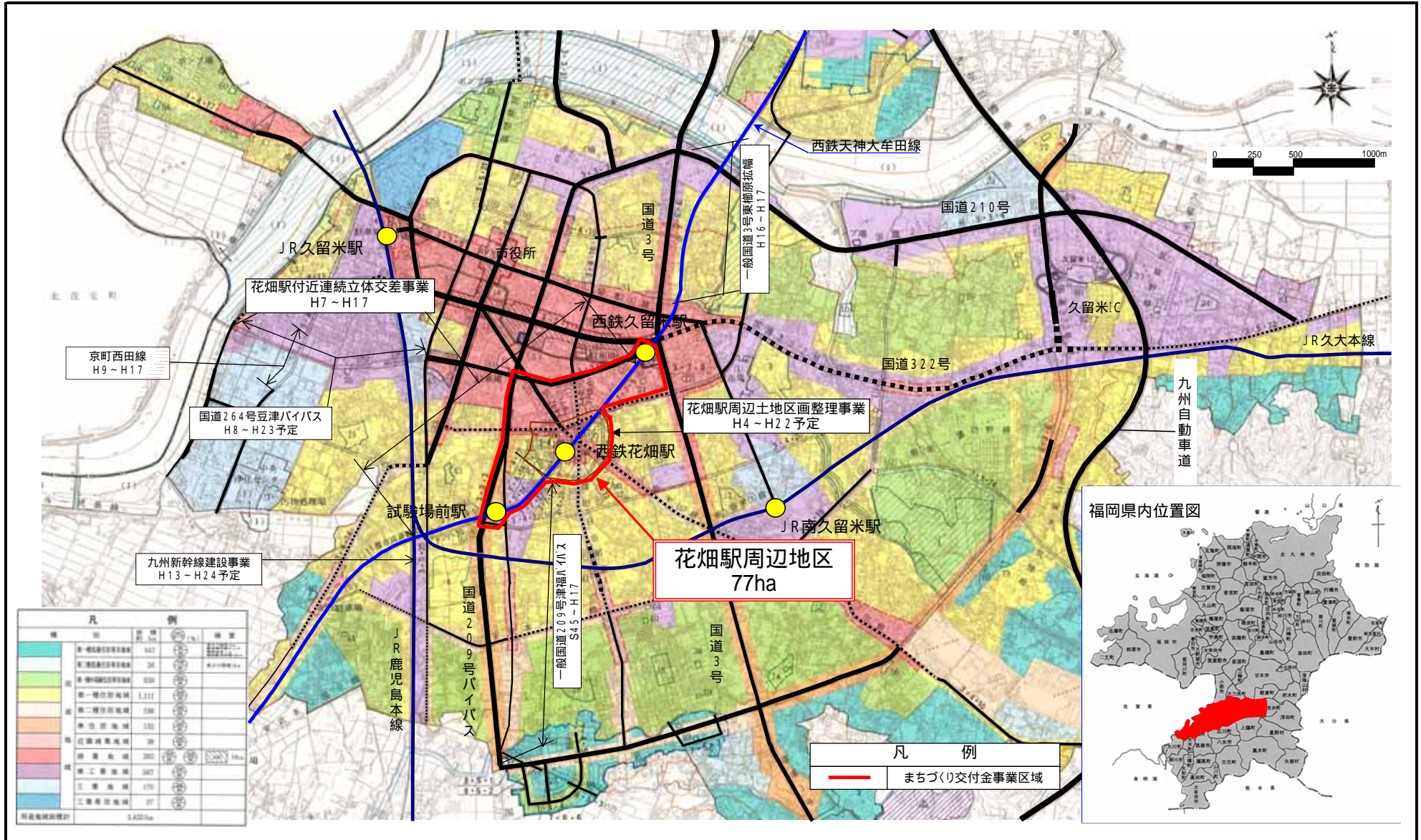
花畑駅周辺地区(福岡県 久留米市)

面積

77 ha

区域

小頭町の一部、原古賀町の一部、西町の一部、六ツ門町、東町の一部、天神町の一部、梅満町の一部、津福本町の一部



はなばたけえきしゅうへんちく ふくおかけん く る め し
花畑駅周辺地区（福岡県 久留米市） 整備方針概要図

目標	駅を中心とした都市環境の改善による憩いや賑わいのある都市再生	代表的な指標	駅乗降者数 (人/日)	50,000 (H16年度)	48,000 (H21年度)
			狭隘道路率 (%)	21 (H16年度)	14 (H21年度)
			自転車駐車場利用台数 (台/日)	2,630 (H16年度)	3,290 (H21年度)

